

社会福祉法人 東員町社会福祉協議会
平成27年度事業報告

社会福祉法人東員町社会福祉協議会

Ⅰ 法人運営分野

理事会に自治会長会会長を迎え、地域福祉の普及に関する具体的な提案をいただくことができました。また、評議員を社会福祉施設及び関係福祉団体、市民活動団体、医療や商工関係機関から選任し、事業計画、予算・決算、理事選任等の重要案件についてご審議いただきました。

事業のPR面においては、ホームページの更新を充実させたところアクセス数が格段に伸びました。さらに、各地区に出向いて社会福祉協議会と地域福祉について説明し、今年度で全地区を訪問することができました。

そのような取り組みの元、自治会長各位の協力を得て会員の拡充と会費の確保に努めましたが、思うような結果は得られませんでした。数値的な結果は出せませんでした。地域福祉座談会や福祉のつどいなどの地域福祉事業を実施する中で、町民の社会福祉協議会への関心が向上している手ごたえを感じています。

また、新会計基準に基づく初めての経理でしたが円滑に会計実務を行うことができ、決算を終えることができました。

<p>1 理事会評議員会 の開催 監査の実施</p>	<p>(1)理事会 自治会長会会長を含め、10人の理事が就任した。 [任期 平成27年4月1日～平成29年3月31日]</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="456 927 699 1066">4月1日(水)</td> <td data-bbox="705 927 1375 1066"> <ul style="list-style-type: none"> ① 会長・副会長の選任 ② 職務代理者の指名 ③ 臨時職員等就業規則の改正 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="456 1070 699 1487">5月25日(月)</td> <td data-bbox="705 1070 1375 1487"> <ul style="list-style-type: none"> ① 平成26年度事業報告について ② 平成26年度一般会計決算について ③ 評議員の選任について(補充選任) ④ 定款施行細則の改正について (第11条会長による専決事項の変更) ⑤ 給与規程の改正について(地域手当の創設) ⑥ 就業規則の改正について(福利厚生の変更) ⑦ 平成27年度一般会計収支補正予算(案)について </td> </tr> <tr> <td data-bbox="456 1491 699 1585">10月30日(金)</td> <td data-bbox="705 1491 1375 1585"> <ul style="list-style-type: none"> ① 平成27年度事業経過報告 ② 専決事項の報告 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="456 1590 699 2007">12月24日(木)</td> <td data-bbox="705 1590 1375 2007"> <ul style="list-style-type: none"> ① 特定個人情報等取扱規程の制定について (社会保障・税番号制度の導入にかかる規程の制定) ② 職員就業規則の改正について (社会保障・税番号制度の導入にかかる事項の創設) ③ 臨時職員等就業規則の改正について (社会保障・税番号制度の導入にかかる事項の創設) ④ 平成27年度一般会計収支補正予算(案)について (共同募金、退職共済掛け金にかかる補正等) </td> </tr> </table>	4月1日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ① 会長・副会長の選任 ② 職務代理者の指名 ③ 臨時職員等就業規則の改正 	5月25日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ① 平成26年度事業報告について ② 平成26年度一般会計決算について ③ 評議員の選任について(補充選任) ④ 定款施行細則の改正について (第11条会長による専決事項の変更) ⑤ 給与規程の改正について(地域手当の創設) ⑥ 就業規則の改正について(福利厚生の変更) ⑦ 平成27年度一般会計収支補正予算(案)について 	10月30日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ① 平成27年度事業経過報告 ② 専決事項の報告 	12月24日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ① 特定個人情報等取扱規程の制定について (社会保障・税番号制度の導入にかかる規程の制定) ② 職員就業規則の改正について (社会保障・税番号制度の導入にかかる事項の創設) ③ 臨時職員等就業規則の改正について (社会保障・税番号制度の導入にかかる事項の創設) ④ 平成27年度一般会計収支補正予算(案)について (共同募金、退職共済掛け金にかかる補正等)
4月1日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ① 会長・副会長の選任 ② 職務代理者の指名 ③ 臨時職員等就業規則の改正 								
5月25日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ① 平成26年度事業報告について ② 平成26年度一般会計決算について ③ 評議員の選任について(補充選任) ④ 定款施行細則の改正について (第11条会長による専決事項の変更) ⑤ 給与規程の改正について(地域手当の創設) ⑥ 就業規則の改正について(福利厚生の変更) ⑦ 平成27年度一般会計収支補正予算(案)について 								
10月30日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ① 平成27年度事業経過報告 ② 専決事項の報告 								
12月24日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ① 特定個人情報等取扱規程の制定について (社会保障・税番号制度の導入にかかる規程の制定) ② 職員就業規則の改正について (社会保障・税番号制度の導入にかかる事項の創設) ③ 臨時職員等就業規則の改正について (社会保障・税番号制度の導入にかかる事項の創設) ④ 平成27年度一般会計収支補正予算(案)について (共同募金、退職共済掛け金にかかる補正等) 								

平成28年 3月25日(金)	① 経理規程の改正について (サービス区分の追加) ② 給与規程の改正について(給料表の改定) ③ 臨時職員等就業規則の改正について (賃金の改正) ④ 評議員の選任について (任期満了による選任) ⑤ 平成27年度一般会計収支補正予算(案)に ついて ⑥ 平成28年度事業計画(案)について ⑦ 平成28年度一般会計収支予算(案)について ⑧ 平成28年度予算中のサービス区分内流用と 予備費の充用について
-------------------	--

(2)理事研修

理事が運営判断をするための材料として、以下の研修を行った。

① 開催日 7月22日(水)

会 場 : 東員町ふれあいセンター 1階 サロン

テ ー マ : 『東員町の介護予防・日常生活支援総合事業について』

講 師 : 東員町役場 長寿福祉課 課長補佐 中川賢氏

参加者 : 5名

② 開催日 平成28年1月14日(木)

会 場 : 岐阜都ホテル2階 ボールルーム

テ ー マ : 『社会福祉法人制度改革』

講 師 : 経営者協議会制度政策委員会 平田直之氏

参加者 : 6名

(3)評議員会

5月26日(火)	① 平成26年度事業報告について ② 平成26年度一般会計決算について ③ 平成27年度一般会計収支補正予算(案)に ついて ④ 理事の選任について(補充選任)
12月25日(金)	① 平成27年度一般会計収支補正予算(案) について (共同募金、退職共済掛け金にかかる補正等)
平成28年 3月29日(火)	① 理事の選任について(補充選任) ② 平成27年度一般会計収支補正予算(案)に ついて ③ 平成28年度事業計画(案)について ④ 平成28年度一般会計収支予算(案)について ⑤ 平成28年度予算中のサービス区分内流用と 予備費の充用について

		<p>(4)監査</p> <p>① 5月18日(月) 平成26年度事業報告・一般会計収支決算の監査</p> <p>② 12月15日(火) 平成27年度前期事業経過・一般会計収支の監査</p>
2	会員の募集	<p>ふくしのわ春号に記載し全町民の方に呼び掛けると共に、自治会長会で協力をお願いした。</p> <p>① 戸別会費は5月に実施し、2,874,432円の会費をいただいた。昨年度と比較し、22,906円の減額となった。5,748世帯(加入世帯率62.3%) (自治加入世帯を対象に算出した会員加入率75.7%)</p> <p>② 特別会費は、7月から8月にかけて実施し、756,000円の会費をいただいた。昨年度と比較して68,000円の減額となった。</p> <p>③ 特別会員へお礼状と共に福祉のつどいの案内を送付し、会費によって地域福祉の啓発事業をしていることを伝えた。</p> <p>④ 地域での敬老会行事やシニアカレッジで社協の役割と実施事業を説明した。今年度で全地区での説明が終了した。</p>
3	苦情の受付	<p>(1)苦情の受付</p> <p>今年度、苦情件数 8件 第三者委員会への報告 0件</p> <p>① 7月15日(金)</p> <p>住民から</p> <ul style="list-style-type: none"> * 会費の納入について * 広報の仕方について <p>[対応]</p> <p>聴き取りのみ</p> <p>② 8月20日(木)</p> <p>住民から</p> <ul style="list-style-type: none"> * 会費の納入について <p>[対応]</p> <p>自治会長に、会費のとりまとめ方法について個人のご意志を確認いただきたいとお願いした。</p> <p>③ 9月28日(月)</p> <p>住民から</p> <ul style="list-style-type: none"> * 会費の納入について <p>[対応]</p> <p>申出人に、自治会長に説明していることをお話しした。</p> <p>④ 10月14日(水)</p> <p>住民から</p> <ul style="list-style-type: none"> * 寄付募集をする際に金額や名前を書きたくない。 (東員町役場のつぶやきポストに入っていた苦情) <p>[対応]</p> <p>自治会で金額や名前を書かずに募金できるようにして下さっているので、このまま様子を見る。</p> <p>⑤ 10月30日(金)</p>

住民から

- * 特別会員に入った覚えがないのに、お礼状と福祉のつどいの案内が郵送されてきた。

[対応]

次年度以降は、申込書に「特別会員加入」であること、「特別会員に事業の案内を送付すること」を、よくわかるように記載する。

⑥ 12月5日(土)

自治会長から

- * 一般の人にはふれあいセンターと保健福祉センターの違いもわからないし、ふれあいセンター内にはケアマネージャーがいるところ、会費を受け取る場所、と、わかりやすく表示してほしい。

[対応]

センター内に、業務内容を入れた案内看板を掲示した。

⑦ 平成28年3月16日(水)

デイサービス利用者から

- * 利用者の情報の一部が外部の人に知られていた。

[対応中]

⑧ 平成28年3月17日(木)

ポイント制ボランティア登録者から

- * ポイント制ボランティアの活動範囲が、小学校の草取り、側溝の掃除、木の伐採まで含まれているのはおかしい。そのためにポイント制ボランティアのポイントを増やすという話は考えられない

[対応]

委託元の長寿福祉課に伝達し、次年度以降のポイント制ボランティアについて検討

(2)苦情解決体制

① 苦情解決第三者委員の委嘱(平成27年7月1日～平成29年6月30日)

尾宮次男氏 小川幸子氏

② 第三者委員との懇談会

7月8日(水)

第三者委員と社協役員、苦情解決責任者、苦情受付担当者、昨年度に受け付けた苦情とその解決の報告、日常の業務について懇談した

4 体制の充実

(1)運営会議

- 4月6日(月) 今年度の会議の計画、業務の進め方
- 5月11日(月) 年間スケジュール、理事会評議員会の内容
- 5月13日(水) 生活困窮者自立支援事業家計相談について他
- 6月8日(月) 職員全体研修、総合事業への対応について他
- 7月6日(月) 障がい者福祉サービス、総合事業について他
- 8月10日(月) 基金について、生活支援コーディネーターについて
- 9月7日(月) 理事会の内容、介護保険事業について他
- 10月5日(月) 事業経過について他

- 11月2日(月) 共同募金事業の予算、地域福祉座談会の方向性について
- 12月7日(月) あり方検証委員会での指摘への対応について他
平成28年
- 1月12日(火) 理事会・評議員会について、総合事業について他
- 3月4日(金) 理事会・評議員会、あり方検証委員会について、総合事業について

(2)役席会議

- 4月16日(木) 業務の進め方について会長から
文書管理、理事会評議員会について他
- 7月31日(金) 職員退職後の体制
今後、役席・運営会議で取り扱う議題他
- 10月26日(月) あり方検証委員会、福祉のつどいについて他
平成28年
- 2月12日(金) 会議室の整備、職員採用について他

(3)局長係長会議

- 4月20日(月) 各係相互の事業の関わり方、事業報告・評価の書式について
平成28年
- 2月15日(月) 事業計画について

(4)総務福祉係会議

- 4月10日(金) 地域福祉座談会拡大の仕方(広報の戦略など)
- 5月1日(金) 28年実施の共同募金の申請内容、座談会の進め方
- 5月12日(火) ホームページのコンテンツ
- 5月26日(火) 災害ボランティアセンターの方向、事業適正化について
- 7月1日(水) 支え合い制度、特別会費の対応について

5 事業の適正化

(1)事業評価

「事業評価票」を工夫し、10月から全業務を事業評価票によって以下の視点で評価した。

- ① 地域福祉の向上を目指す事業であるか(総務福祉係)
自分たちの仕事が地域福祉につながっているか(施設事業係)
- ② 社会情勢の変化など時の経過に即した事業実施になっているか(総務福祉係)
制度改正や地域の実情に応じたサービス内容になっているか(施設事業係)
- ③ 住民のニーズに適應しているか
- ④ 費用対効果を考慮した事業実施になっているか

(2)町の受託事業、町への協力内容に関する協議

- ① 生活支援型配食サービス事業の受託内容について、民間配食サービスが一般化しているため、提供内容を所得制限も含めて協議した。このまま継続することになった。

		② 一般高齢者対象介護予防事業について、受講修了生の活動の場と今後の方向性を協議した。29年度に向けて、今後も協議する。
6	あり方検証委員会	11月27日(金)あり方検証委員会を開催した。 会員の充実、地域福祉座談会の進め方、特殊浴槽の利用についてなど指摘をいただいた。
7	職員研修・倫理の向上	<p>昨年に引き続き、県社協主催の生涯研修を計画的に受講した。受講者数4名事業別専門分野への研修も参加(会計担当者養成講習、生活福祉資金貸付担当者研修、知的障害者福祉専門研修、成年後見制度公開講座など)研修内容は、各係内で伝達した。</p> <p>研修を受講し、実務に役立つ知識や技術を修得するとともに職員の意欲向上につなげた。また、効率的に業務を行うための技術を学ぶ講習を行った。</p> <p>(1)実務研修</p> <p>① 7月22日(水)</p> <p>内容 : 講習『東員町の介護予防・日常生活支援総合事業について』 東員町の現状を客観的に知ったうえで“介護予防・日常生活支援総合事業”の概要を学んだ。</p> <p>講師 : 東員町役場 長寿福祉課 課長補佐 中川賢氏</p> <p>参加者 : 職員27人. 理事6人</p> <p>② 9月2日(水)</p> <p>内容 : 講習『“C”から始まるPDCA』 PDCAは事業計画作成のためだけでなく、普段の業務で活用することでスパイラルアップに結びつくこと。アウトカムアウトプットを学んだ。</p> <p>講師 : (株)シンクアクト 志賀 弘幸氏</p> <p>参加者 : 全部署の正規職員</p> <p>(2)人権研修</p> <p>① 9月12日(土)</p> <p>内容 : 講習『女性の人権～私らしく生きる～』 講師 : 公益財団法人 反差別・人権研究所みえ 本江優子氏</p> <p>参加者 : 19名</p> <p>② 平成28年2月28日(日)</p> <p>内容 : 講習『差別ってなんやねん』 講師 : 桂福車氏</p> <p>参加者 : 23名</p>
8	寄付金の受付	ご寄付者名を『広報とういん』に掲載した。 寄附金額 2,930,175円 今年度から寄付者名をホームページに掲載した。(毎月1回更新)
9	日本赤十字社社資増強運動	日本赤十字社強化月間に町内で啓発した。 (1)啓発活動

		<p>5月13日(水) 三岐鉄道北勢線 東員駅 穴太駅 三重交通城山バス停</p> <p>(2)社費の募集</p> <p>5月 自治会長会で説明し募集</p> <p>平成27年度実績額 2,904,807円(目標額3,351,000円)</p>
10	安全衛生委員会	職員数が50人を下回ったため、安全衛生委員会の設置や産業医の契約はしなかった。

II 地域福祉分野

地域福祉座談会は、今年度8地区で開催されました。各座談会の思いに沿うように活動提案をしたり事務的なお手伝いをした結果、自治会によって進捗は様々ですが、地区内のニーズを把握するための調査の実施、調査結果に基づく活動の企画が始まりました。この支援を通して、アンケート調査は地区のニーズ把握のみでなく、住民が主体的に地域課題に取り組む根拠と住民主体で活動を継続させる力になることを実感しました。

また、福祉のつどいでは地域福祉の理念を啓発し、シニアカレッジでは先進事例を学ぶ、地域福祉推進協議会では町内の地域福祉活動の情報交換を通して拡大を図る、というように、様々な事業の最終目標が『地域福祉の推進』になるよう道筋をたてて取り組めるようになりました。

さらに、日常生活自立支援事業に力を入れ、対象者を訪問して直面している生活課題を聞き取りていねいに対応することで地域で暮らし続ける個人を支えました。

1	福祉のつどい	<p>「助けて！」と言える関係を築くことの大切さを学び、また、「助けて」と言いにくい気持ちを大切にしたい助けあい活動を学んだ。</p> <p>日 時 11月27日（金）18：30～20：55</p> <p>会 場 東員町保健福祉センター ホール</p> <p>テーマ 『あなたは「助けて！」と言えますか？』</p> <p>講 師 ご近所福祉クリエーター 酒井保氏</p> <p>参加者 77名</p>																							
2	『ふくしのわ』発行	<p>4月17日 7月3日 10月2日 1月15日に発行し、地域福祉座談会の取り組み内容や地域福祉活動を広報した。地域の活動情報をより多く掲載するよう努めた。</p> <table border="1" data-bbox="467 1227 1393 1933"> <thead> <tr> <th>発行日</th> <th colspan="2">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">4月17日</td> <td>表紙</td> <td>シニアカレッジ</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>平成27年度事業計画・予算 社協会費・日赤社費 役員紹介 近隣の助け合いの手記</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">7月3日</td> <td>表紙</td> <td>子育て支援ほっと</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>平成26年度事業報告・決算 特別会費募集 地域福祉座談会 理事会評議員の報告</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">10月2日</td> <td>表紙</td> <td>誰もが住みやすい地域づくり</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>社協戸別会費と日赤社費の報告 地域福祉座談会 共同募金運動 福祉のつどい開催 職場体験</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1月15日</td> <td>表紙</td> <td>福祉のつどい</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>社協特別会員 地域ボランティア制度 地域福祉座談会 勤労体験 リフレッシュ事業 日常生活自立支援事業</td> </tr> </tbody> </table>	発行日	内容		4月17日	表紙	シニアカレッジ	内容	平成27年度事業計画・予算 社協会費・日赤社費 役員紹介 近隣の助け合いの手記	7月3日	表紙	子育て支援ほっと	内容	平成26年度事業報告・決算 特別会費募集 地域福祉座談会 理事会評議員の報告	10月2日	表紙	誰もが住みやすい地域づくり	内容	社協戸別会費と日赤社費の報告 地域福祉座談会 共同募金運動 福祉のつどい開催 職場体験	1月15日	表紙	福祉のつどい	内容	社協特別会員 地域ボランティア制度 地域福祉座談会 勤労体験 リフレッシュ事業 日常生活自立支援事業
発行日	内容																								
4月17日	表紙	シニアカレッジ																							
	内容	平成27年度事業計画・予算 社協会費・日赤社費 役員紹介 近隣の助け合いの手記																							
7月3日	表紙	子育て支援ほっと																							
	内容	平成26年度事業報告・決算 特別会費募集 地域福祉座談会 理事会評議員の報告																							
10月2日	表紙	誰もが住みやすい地域づくり																							
	内容	社協戸別会費と日赤社費の報告 地域福祉座談会 共同募金運動 福祉のつどい開催 職場体験																							
1月15日	表紙	福祉のつどい																							
	内容	社協特別会員 地域ボランティア制度 地域福祉座談会 勤労体験 リフレッシュ事業 日常生活自立支援事業																							
3	ホームページの運営	<p>常に新しい情報を発信し、新着情報の枠を広げて、いつでも最新情報を把握できるようにした。</p>																							

		* 総アクセス件数 265,762件(前年比376%)
4	民協との協働	<p>民生委員児童委員協議会の事務局を担い、定例会、役員会の事務を担った。</p> <p>* 定例会(4/15. 6/17. 8/19. 9/16. 10/21. 12/18. 2/17. 3/16)</p> <p>* 役員会(4/8. 6/3. 8/5. 9/2. 10/7. 12/9. 2/3. 3/2)</p> <p>* PR活動やブロック別の活動、分野別活動を事務局として支援した。</p>
5	地域福祉座談会	<p>地域の暮らしやすさを地域住民で作っていくことを伝えた。</p> <p>今年度から新たに3地区で地域福祉座談会が始まった。また、すでに活動している座談会は経験を重ねたため、地域課題の意見交換が深まった。</p> <p>(1)地域福祉座談会の開催(8地区・全自治会の約34%で実施)</p> <p>① 新規開催の座談会</p> <p> 穴太地区</p> <p> 大木地区</p> <p> 笹尾東2丁目地区</p> <p>② 継続している座談会</p> <p> 中上地区(平成25年度から)</p> <p> 笹尾東4丁目地区(平成25年度から)</p> <p> 筑紫地区(平成26年度から)</p> <p> 瀬古泉地区(平成26年度から)</p> <p> 八幡新田地区(平成26年度から)</p> <p>(2)実施状況</p> <p>① 筑紫</p> <p> 9月5日(土) 自治会行事や各団体の活動、助けてと言える関係について意見交換</p> <p>② 瀬古泉</p> <p> 4月18日(土) メンバー交代による顔合わせと情報交換. 活動経過と新たな活動</p> <p> 5月16日(土) 会の“取り決め”決定, 活動の経過の確認</p> <p> 6月20日(土) 地域課題に対する活動について</p> <p> 7月18日(土) 考えられている活動5つの優先順位について</p> <p> 8月22日(土) DVD鑑賞会と石取祭の場、子どもと高齢者の交流について、今後の取り組みについて</p> <p> 10月17日(土) 自治会行事の時に新入生と見守り活動者の顔合わせ会をする企画</p> <p> 12月19日(土) 小学入学生と下校ボランティアの顔合わせグランドゴルフ交流会の企画</p> <p>平成28年</p> <p> 2月27日(土) 小学入学生と下校ボランティアの顔合わせグランドゴルフ交流会の詳細を決定</p> <p>③ 八幡新田</p> <p> 5月14日(木) 地域活動の現状と課題, メンバーについて</p>

- 7月2日(木) 自主防災隊の活動とシニアクラブとの協働について
- 9月10日(木) 防災活動を基盤にした地域づくりについて
- 11月18日(水) 地域福祉座談会で取り組むテーマを確認
- 12月9日(水) 見守りは班を単位に考える。新班長への説明について

平成28年

- 3月3日(木) 班長会で見守りについて説明する内容について
- 3月5日(土) 班長会で見守りと地域福祉座談会について説明

④ 中上

- 4月20日(月) 気にかかる人、今後のPR、認知症について学ぶ企画
- 5月20日(水) 気にかかる人、認知症について学ぶ企画
- 6月15日(月) 認知症を患っても地域で暮らし続けることについて
- 7月22日(水) 認知症の方との接し方を学ぶ企画について
- 9月5日(土) 認知症の方との接し方を学ぶ講習会開催
- 10月3日(土) 講習会の成果と今後。気にかかる人、見守り運動について
- 11月16日(月) 男性女性が一緒に困りごとを考えられる機会について

平成28年

- 1月14日(木) シニアクラブ食事会で実施する“「困りごと」「できること」を尋ねる”企画について詳細を決定した。
- 1月31日(日) シニアクラブ食事会で“「困りごと」「できること」を尋ねる”グループワークを行った。
- 2月18日(木) 1/31のグループワークを分析し、中上⇄イオンを住民の助け合いで送迎できないか検討した。
- 3月14日(月) 住民助け合いによる送迎を実施するにあたり、有償運送運営協議会委員から送迎ボランティアのルールを学んだ。

⑤ 笹尾東4丁目

- 6月20日(土) 見守り希望者へのアンケート結果について
- 7月25日(土) 夏休みラジオ体操 敬老会について
- 8月28日(金) ラジオ体操の振り返り 敬老会について
- 9月13日(日) 笹尾東4丁目敬老会の開催
- 11月14日(土) アンケートの分析

⑥ 笹尾東2丁目

- 6月25日(木) 自己紹介、地域福祉座談会の説明
- 8月21日(金) 地域の課題や問題点について
- 11月18日(水) 子どもと大人と一緒に、定期的に一斉清掃し関係を深めることになった。

⑦ 南大社

- 6月25日(木) 地域福祉座談会の説明

		<p>⑧ 大木</p> <p>6月6日(土) 班長会で地域福祉座談会の概要を説明</p> <p>8月26日(水) 地域福祉座談会の詳細を説明</p> <p>10月22日(木) 見守り活動について</p> <p>11月24日(火) 見守り活動の企画について</p> <p>平成28年</p> <p>1月28日(木) 座談会のメンバーについて。チラシの内容を考え、標語を募集することにした。アンケート調査について</p> <p>3月5日(土) 班長会で地域福祉座談会と見守りについて説明。チラシを配布し、見守り標語を募集</p> <p>⑨ 穴太</p> <p>9月12日(土) 地域福祉座談会と個人情報保護の説明</p> <p>11月28日(土) 穴太で取り組むことの検討</p> <p>平成28年</p> <p>2月13日(土) チラシの内容と配布対象、アンケート内容と対象者を決定</p> <p>3月2日(水) シニアクラブ班長会で地域福祉座談会の説明とアンケートの説明・依頼</p> <p>⑩ 山田</p> <p>平成28年</p> <p>2月15日(月) 自治会長・副会長に地域福祉座談会について説明した。</p>
6	担い手養成	<p>住民主体で地域の住みやすさを追求し事業を立ち上げた具体例や手法を学んだ。</p> <p>(1) 支え合い活動の先進事例を学ぶ</p> <p>日 時 10月24日(土)</p> <p>講 師 青山里会コミュニティワーカー 高花平団地 ちょっと手を貸して運動事務局長</p> <p>テーマ 『この町で生ききるために』</p> <p>参加者 座談会関係者 43名</p> <p>(2) “ちょっとイオンまで” 送迎ボランティアのルールを学ぶ</p> <p>日 時 平成28年3月14日(月)</p> <p>講 師 松永浩氏(北勢地区福祉有償運送運営協議会委員・木曾岬町社協)</p> <p>参加者 中上地区見守り会議(地域福祉座談会) 5名</p>
7	活動支援	<p>地域福祉の向上に資する活動や団体に助成した。</p> <p>(1) 地域福祉活動推進助成の実施</p> <p>① 当事者団体・福祉種別団体に対する活動助成</p> <p>団体の目的達成に要する経費の一部を助成した。</p> <p>* 助成先</p> <p>東員町民生委員児童委員協議会、東員町福祉事業所連絡協議会</p>

	<p>東員障がい児者親の会、東員町共同募金委員会、いなべ地区視覚障害者協会、東員町遺族会、東員障がい者友の会、いなべ市聴覚障害者福祉協会東員支部</p> <p>② 地域福祉課題解決助成の実施 地域福祉座談会を通じて生まれた活動に要する経費の一部を助成した。</p> <p>* 助成先 中上地域福祉座談会 28,000円 認知症の方への接し方を学ぶ講習会開催にかかる経費 大木地域福祉座談会 38,000円 チラシ印刷にかかる経費</p> <p>(2)環境の整備</p> <p>① 事務作業応援コーナー 地域福祉活動に取り組む個人、団体が自由に使用できる事務作業コーナーを設置し利用を促進した。</p> <p>* 複合機の利用実績/白黒641枚 カラー49枚</p> <p>② ボランティア保険 安心して活動するため、ボランティア活動保険の加入を勧めた。</p> <p>* ボランティア活動保険加入実績/666件</p>
8 地域福祉推進協議会	<p>それぞれの座談会活動について発表し、質疑応答した。 特に、座談会開催状況や座談会参加者について報告しあい、知恵を共有した。</p> <p>① 日 時 8月7日(金) 19:00~20:30 会 場 ふれあいセンター 研修室 テーマ 活動紹介と情報交換 参加者 地域福祉座談会代表等9人 (地域福祉座談会代表5名、民生委員2名、シニアクラブ1名、シルバー人材センター1名)</p> <p>② 日 時 平成28年1月20日(水) 19:00~20:30 会 場 ふれあいセンター 研修室 ※雪のため中止</p>
9 社協行政連絡調整会議・地域福祉施策検討会議	<p>(1)社協行政連絡調整会議 役場生活福祉部の全課と社協の実務者が集まり、地域福祉に関する業務の執行状況を共有し意見交換した。 8月28日(金) 社協.各課の地域福祉に関する業務の情報交換 平成28年 1月14日(木) 社協.各課の地域福祉に関する業務の情報交換 地域支え合いと自治会未加入者の関係についてなど 意見交換</p> <p>(2)地域福祉施策検討会議 役場生活福祉部全課の課長と社協局長が集まり、社協の地域福祉事業の方向性について意見交換した。</p>

		<p>7月2日(木) 平成27年度の各課、社協の事業についてなど 平成28年</p> <p>2月16日(火) 平成27年度と平成28年度の各課、社協の事業についてなど</p>
10	ひとり暮らし高齢者交流会	<p>ひとり暮らし高齢者を対象に、閉じこもり防止や孤独感の解消、仲間づくり等を目的に、お住まいに近い場所で開催した。</p> <p>委託先 東員町民生委員児童委員協議会</p> <p>日 時 6月に各校区で開催</p> <p>会 場 各校区内の集会所等</p> <p>参加者 162名(昨年比118%)</p> <p>内 容 園児とのふれあい、地域の皆さんによる踊り、花笠音頭披露、民生委員による三味線</p> <p>※ 高齢者福祉部会・社協と打ち合わせ(5/22)</p>
11	生活支援型配食サービス	<p>在宅のひとり暮らし高齢者や要援護高齢者等に昼食を配達するとともに安否確認し、留守の場合は改めて自宅を訪問して状況を確認した。</p> <p>(1)配食</p> <ul style="list-style-type: none"> * 委託先/社会福祉法人いずみ * 月曜日から金曜日の中で希望する日 * 個人負担金 300円(減額対象者2名 150円) * 利用食数 4,767食 利用登録者33名 利用実人数1日平均19.6人 <p>(2)安否確認</p> <p>配達時に留守で安否確認した件数 24件</p> <p>家族・民生委員に連絡した件数 1件</p>
12	ふれあい型配食サービス	<p>ひとり暮らし高齢者を中心とした対象者に、ふれあいを目的に昼食を配達した。</p> <p>(1)配食</p> <ul style="list-style-type: none"> * ボランティアが調理・配達 ※一部業者委託 * 第2・4火曜日と第1～4金曜日の希望する日 * 個人負担金 300円 * 利用食数1,451食 利用登録者34名 利用実人数1日平均 20.7人 <p>(2)安否確認</p> <p>配達時に留守で安否確認した件数 7件</p> <p>家族・民生委員に連絡した件数 0件</p> <p>(3)食中毒講習会</p> <p>調理に関わるボランティアを対象に実施した。</p> <p>日 時 平成27年6月23日(火)</p> <p>内 容 食中毒予防講習</p> <p>講 師 桑名保健所</p> <p>参加者 わくわくボランティア及び東員町食生活推進協議会の方々 26名</p>
13	シニアカレッジ	<p>シニアカレッジを受講することによって、地域福祉に関心を持ってもらい、その後地域福祉活動のリーダーになっていただけるように</p>

		<p>取り組んだ。卒業生の45.8%のがシニアカレッジを機会に地域に関心をもつようになった。</p> <p>開催日 6月～3月までの月1回</p> <p>会 場 保健福祉センター等</p> <p>受講生 32名</p> <p>内 容 地域デビューについて(美し国おこし三重)、地域見守り活動の実際(浜松市社協)、東員町の支え合い(東員町社協)、地域の実践例(いなべ市篠立地区自治会)、東員町の高齢化の現状(東員町役場)</p>
14	介護予防事業	<p>はつらつと暮らす高齢者を応援し、地域で介護予防意識を普及啓発する人材を養成した。城山地区で開催した「ひとり暮らし高齢者会食交流会」では、3名の塾生がアトラクションの講師になり、学びを活かした。健康塾生の11%が介護予防ボランティアに登録した。健康塾生の50%が健康増進の成果を感じた。</p> <p>* 5月～ 1回/月 アイスブレイク、日用品を使った体操、病気の付き合い方予防等</p> <p>* 参加申込者 54名(内新規10名)</p>
15	地域ボランティア制度	<p>地域ボランティア制度への登録をきっかけに地域福祉に目を向けてもらえるよう、登録説明会では地域福祉に関して意見交換する時間を設けた。</p> <p>* 地域ボランティア制度について行政との打ち合わせ(5/26)</p> <p>* ホームページ、広報とういん、シニアcafe等で広報した。</p> <p>* 登録者説明会の開催/5回 (5/25, 6/29, 7/27, 8/31, 9/28, 10/26, 11/30, 12/21, 1/25, 2/29, 3/28)</p> <p>* 登録状況/活動者45名・活動先20カ所</p>
16	リフレッシュ事業	<p>介護から一時的に離れる機会を提供したり、適切な介護方法を伝えることで、家族の身体的精神的負担を軽減した。</p> <p>* 事業を身近に感じていただくためのメール会員登録.. 登録者 7名</p> <p>* マッサージなどリフレッシュルーム、オムツ教室などの家族介護教室実施の際は必ず座談会を催して交流を促した。 1回/2ヶ月 開催 延べ参加人数 50名</p> <p>* 大台町の介護者の皆さんと交流会 9月17日(木) 参加者 11名</p>
17	心配ごと相談事業・無料弁護士相談	<p>(1)心配ごと相談及び無料弁護士相談</p> <p>弁護士・一般相談員(有資格者・学識経験者・民生委員)が相談に応じた。特に、法律的な相談に対して弁護士が助言や専門機関の紹介をした。</p> <p>* 毎月5日(土・日・祝の場合は翌日)及び第3日曜日 心配ごと相談及び弁護士相談開催回数 12回 相談件数 95件</p> <p>* 弁護士を含めて事例について検討したが、“暮らしの困りごと”</p>

		として町づくりに活かせる事例はなかった。
18	当事者団体の育成支援	<p>当事者やその家族が東員町で「仲間作り」「話し合いの場」を持つことによってよりよい暮らしができるよう助成した。</p> <p>(1)東員障がい児者友の会 各種事業の企画・開催支援、広報活動の支援等</p> <p>(2)東員町障がい児(者)親の会 ボランティア募集等の広報支援</p> <p>(3)東員町遺族会 県戦没者追悼式の参加支援、町戦没者追悼式の開催協力 会費、初穂料等の受付代行、行政との連絡調整等</p> <p>(4)いなべ地区視覚障がい者協会 団体運営にかかる支援</p> <p>(5)いなべ市聴覚障がい者福祉協会東員支部 団体運営にかかる支援</p> <p>(6)東員町福祉事業所連絡協議会 団体運営・企画実施にかかる支援</p> <p>(7)東員町シニアクラブ連合会 理事会・企画委員会への参加、各種事業の開催・広報活動の支援</p> <p>(8)東員町母子寡婦福祉会 総会、交流会の開催支援</p>
19	子育て支援事業	<p>子育て中の親が仲間を作り、また、住民が子育て支援活動を通して自身の生きがいを作れるよう、地域で集まる機会をつくった。</p> <p>(1)子育て応援ルームの運営 開催日 月・水/週・延べ71日 会場 ふれあいセンター2階 参加者 延べ1077人</p> <p>(2)イベントの開催</p> <p>① 開催 概ね月1回 会場 ふれあいセンター2階 内容 リズム遊び、七夕まつり、読み聞かせ、救急救命講座等 ハンドマッサージ(保健福祉センター)</p> <p>② 開催 4回/1年(子育て支援「ほっと」) 会場 六把野地区集会所(6/19)、大木集落センター(9/4)、 城山中央集会所(11/20)、鳥取集落センター(28. 2/19) 内容 交流、手品、コーラス、救急救命講座等</p> <p>(3)子育て支援ネット会議への参加 開催日 概ね月1回(6/16. 7/21. 8/19. 9/15. 10/20. 11/17. 12/15. 1/19. 2/16. 3/15)</p>
20	災害ボランティアセンター	<p>今年度の目標を災害ボランティアセンターの実践的な開設とし、東員町防災訓練の見学やボランティアセンター立ち上げに関わる協議を進めた。</p> <p>(1)企画会議の開催(毎月1回)</p>

		<p>参加メンバー/民生委員、障がい当事者、福祉事業関係者、行政、防災活動者など</p> <p>(2)災害ボランティアセンター開設を考慮した取組み 9月6日(日) 東員町総合防災訓練を見学 来年度の開設場所等の協議を行う</p> <p>(3)兵庫県丹波市災害ボランティア活動の視察 11月19日(木) 10名参加予定</p> <p>(4)災害ボランティアセンターフォーラムの開催 目的 実際に災害が発生したときの現状と地域での取組みについて 日時 平成28年2月6日(土) 13:30～15:00 場所 東員町保健福祉センター ホール 内容 基調講演 講師 米山正幸氏(野島断層保存会館 副館長) 参加者 70名</p>
21	看取り介護の啓発	<p>* いなべ在宅医療・介護連携研究会の研修には年間を通して、11名の職員が参加</p> <p>* ケアマネ・訪問介護事業所において在宅での看取りの可能性について、利用者・家族が意識しやすいように普段の関わりで情報提供している。(旅立に向けての冊子を活用)又、実績を数値化している。 平成27年度 訪問介護3件 居宅介護 5件</p> <p>* 看取りについての講演会等の予定をホームページで案内</p>
22	市民活動支援センターへの協力	<p>行政からの依頼に基づき、以下の業務を引き続き代行した。</p> <p>* フリースペース(印刷機、打合せスペース)の運営管理・備品及び参考図書の貸し出し。 使用実績 印刷機 382回 70,224枚 ミーティングコーナー 224回 1,107人 備品利用件数 133件</p>
23	支え合い制度の準備	<p>平成28年度から生活支援コーディネーターによる地域づくりとサービスの構築が開始されるため、重複することがないように、生活支援体制構築の進捗状況によって今後を判断することにした。</p>
24	町内福祉事業所連絡協議会	<p>町内福祉事業所間の情報交換と福祉職員の資質向上、地域福祉課題解決のため、分野を超えた福祉専門機関のネットワーク作りに取り組んだ</p> <p>* 4月1日 NPO法人フレンドハウス愛の事業所閉鎖につき、加入法人は15法人となる。</p> <p>* 4月13日 総会と第1回研修会に向けての役員会</p> <p>* 5月13日 総会と第1回研修会 事業所発表会・福祉事業従事者交流会 参加者96名</p> <p>* 9月4日 (株)結が加入となり加入法人は16法人となる。</p> <p>* 9月25日 第2回研修会</p>

		<p>「認知症ケアについて」講師 江森けさ子氏 参加者75名</p> <p>* 10月1日 (株)愛和十光の事業所閉鎖につき、加入法人は15法人となる。</p> <p>* 10月14日第1.2回研修会の反省と28年度事業計画に向けての役員会</p> <p>* 1月22日 第3回研修会</p> <p>「利用者が楽しめるレクレーションについて」 講師 いなべ市社協 稲葉淑乃氏 参加者69名</p> <p>* 2月17日 28年度事業計画の詳細についての役員会</p>
25	障がい児者の地域生活に関する学習	東員町福祉事業所連絡協議会、平成28年年度第1回研修会で(5/20)社会福祉法人いずみの事業所紹介と、障がい者(児)の計画相談員から計画相談の現状を聞くという計画ができた。
26	共同募金委員会の活動支援	<p>共同募金運動の広報活動と東員町共同募金委員会の運営を事務局として支援した。</p> <p>(1)広報</p> <p>①『ふくしのわ』(10/2発行)ホームページで運動情報を発信</p> <p>② 啓発ポスター、チラシを町内各所へ配架</p> <p>③ 共同募金の趣旨や用途に特化した町独自のPRチラシを作成</p> <p>(2)運営</p> <p>① 運営委員会(6/12.9/25.2/9)の開催</p> <p>② 三重県共同募金会主催の会議に参加 2回</p> <p>(3)募金運動</p> <p>共同募金運動への協力依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> * 東員町自治会長会 * 東員町商工会理事会、東員町シニアクラブ連合会理事会 * 東員町校長会、東員町園長会 * 商工会 * 町内の商店法人企業 <p>(4)東員町共同募金のつどいの開催</p> <p>目的 共同募金のしくみと意義を改めて学び、各団体が配分金を活用して実施した事業と募金運動を発表した。</p> <p>日時 12月4日(金) 18:30~20:30</p> <p>会場 東員町保健福祉センター 1階ホール</p> <p>内容 共同募金配分金活用団体・社協の活動発表及び意見交換</p> <p>講師 三重県共同募金会 事務局長上村吉正氏</p> <p>参加者 37名</p>
27	総合型介護予防事業	<p>* 講座終了まで継続的に参加できるように働きかけた。</p> <p>* 利用者の中には2次予防対象者ではないのでは?と思われる利用者もあった。そのようなときには、委託元と連携をし、対応を協議した。</p> <p>* 総合型介護予防事業 46日/4~3月 延べ参加人数 388名 (いきいきサロン)</p> <p>* 生活体力づくり 24回/5~3月 延べ参加人数 190名</p>

		<ul style="list-style-type: none"> * はつらつ教室 48回/5～3月 延べ利用人数 503名 * おたっしゃ教室 24回/5～3月 延べ利用人数 140名
28	福祉有償運送事業	<p>対象となる利用者の依頼に応じている。 ホームページ・パンフレット等での案内を引き続き行った。 リフト車のニーズはほとんどなく、軽の福祉車両、軽自動車を使用した。 年間利用件数 123件</p>
29	介護タクシー助成事業	<p>要支援者に介護タクシー券(年間2,000円分)を発行し、在宅高齢者の外出を支援した</p> <ul style="list-style-type: none"> * 2,000円助成/年 * 20名申請・交付 協力事業所7事業所
30	日常生活自立支援事業	<p>日常金銭管理を生活支援員と共に行った。ケースの中には相談支援員や行政職員と連携して実施することもあり、本人の希望をていねいに聴き取ったうえで最適な方法を模索しながら支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 日常生活自立支援事業利用者 6名 * 生活支援員 3名 (男性2名 女性1名) * 相談件数 2件
31	日常的金銭管理サービス事業	<p>判断能力のある概ね65歳以上の高齢者や20歳以上の身体障がい者等を対象に、金融機関手続きを代行するものだが、現在利用はない。 相談件数 2件</p>
32	公的貸付事業	<p>(1)生活福祉資金貸付等 生活福祉資金貸付や生活費などの相談に対応し、申請、償還指導等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 利用相談 41件 ② 調査委員会 2件(8/5障がい者自動車購入費、2/3教育支援費の利用) ③ 貸付決定 緊急小口資金 30,000円 (1件) 教育支援資金 494,000円 (1件) ④ 完済 福祉資金 6件 ⑤ 滞納者面談 総合支援資金 1件 緊急小口資金 1件 (猶予申請の支援をした) ⑥ 貸付状況 福祉費 2件 緊急小口資金 7件 教育支援資金 4件 総合支援資金 1件 ⑦ 償還率 福祉資金 95.6% 緊急小口資金 44.3% 教育支援資金 98.1% 総合支援資金 0% <p>(2)生活困窮者自立支援事業 三重県社会福祉協議会の三重県生活相談支援センター相談員と共に面談した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 生活相談 5人(8回) ② 家計相談 1人(1回)
33	車いす・スロープ貸出事業	<p>短期間あるいは緊急に車いす等が必要な方に無料で貸し出した。 また、そこで得た情報を民生委員に提供し、地域の福祉支援に役立てた。</p>

貸出件数 車いす81件 スロープ8件

貸出理由 通院42件 買い物2件 一時退院8件 お出かけ6件

旅行17件 通学0件 その他14件(屋内移動)

Ⅲ 介護保険サービス、障がい者福祉サービス分野

前年度末より収支状況が厳しいことを受けて、目標や経営指標適正值と比較のできる帳票を作成し活用した。しかしながら、収支については、後半の伸びはあったものの、訪問介護以外は目標値に大きく届かなかった。

サービス提供にあたっては、各部署ともニーズに応じたサービスの提供ができるようニーズ把握を行い、提供体制の検討をおこなった。

1 訪問介護・ 介護予防訪問 介護	<p>① 下半期には、ヘルパーの利用依頼が増えた。毎日、早朝夜間を利用するケースも数件ある。登録ヘルパーを募集をしたが必要人数の確保ができていない。</p> <p>② 登録ヘルパーをはじめとした職員のスキルアップを図るためテーマを決めて登録ヘルパーミーティングを11回、行った。又、制度改正による新しい情報を取り入れる為、外部研修に参加した。</p> <p>③ 新しくパンフレットを作成した。</p> <p>年間総利用者数 6,648人</p>
2 障がい児者訪 問介護事業	<p>① 下半期に毎日、ヘルパーを利用するケースが増えた。</p> <p>② ヘルパーの利用を始めると、体調に大きな変化がない限り、中止になることが少ない。</p> <p>年間総利用者数 1,628人</p>
3 通所介護事業 所・予防通所 介護	<p>① 運動機器を導入して午前、午後とも運動メニューを用意し、生活機能改善リハビリに資するサービス提供を開始した。</p> <p>② サービス提供スペースをコンパクトにし全体を見渡せるようにした。</p> <p>③ 集団レクリエーションから小集団レクリエーション、趣味活動に変更し利用者個人に選択してもらえるようにした。</p> <p>④ 運動を目的とした新規の利用者が増加した。</p> <p>⑤ 部署内研修を8回行った。</p> <p>3月末利用者登録数 62名 年間総利用者数 7,905人</p>
4 日中一時支援 事業所	<p>① サービス提供管理者の資格を1名取得。</p> <p>② サロンのレイアウトの変更によりサロン内がコンパクトになり利用者の状態が把握しやすくなった。</p> <p>年間総利用者数 229人</p>
5 居宅介護支援 事業	<p>① 研修計画に添った研修に参加し、ケアマネ一人ひとりの資質の向上を図った。</p> <p>② アセスメントツールとして課題総括表の活用を始めた。</p> <p>③ ケアマネの業務量のバランスの均衡を図るために担当別目標値を設定した。</p> <p>④ 下半期に新規の依頼件数が入院・入所にて中止になる件数を上回り、利用者数が伸びたものの年間の目標値に届かなかった。</p> <p>年間総利用者数 1,848人</p>
6 障がい者・障 がい児計画相 談支援事業	<p>障がい者 148件(新規9件、更新22件、変更6件、モニタリング111件)</p> <p>障がい児 38件(新規6件、更新7件、変更2件、モニタリング23件)</p> <p>町内外からの新規依頼についてはすべて受け入れを行っている。更新時</p>

において本人のニーズや課題を再検討し、計画内容・モニタリング期間の変更につなげた。3障がい及び児童、医療処置や連携と関連のある研修、町内・桑員地区などの研修会にも参加した。

